

いま、 鈴木義男から 考える

鈴木義男 (1894-1963)

第6代東北学院理事長。

福島県白河出身。東北学院・旧制二高・東京帝国大学で学び、ヨーロッパ留学を経て、東北帝国大学教授に就任。同職を辞した後、東京で弁護士に転身し、主に治安維持法違反事件の弁護に取り組む。終戦後は政治家となり、司法大臣などを歴任。帝国憲法改正案委員小委員会において、憲法9条（平和憲法）、憲法17条（国家賠償請求権）、憲法25条（生存権）、憲法40条（刑事補償請求権）の制定に尽力。

写真：ランカスター神学校所蔵

申込不要
入場無料

直接会場にお越しください

2020年3月7日土 13:30~16:10

会場 | 土樋キャンパス／ホーイ記念館ホール

近年、大きな注目を浴びている鈴木義男（1894 - 1963）は、東北学院普通科（中等部）を卒業し、学者・教育者・弁護士・政治家として活躍した人物です。今回の講演では、彼の69年の生涯のうち、弁護士としての活動に目を向け、どのような事件でどのような弁護を行ったのかを取り上げ、鈴木が今日の私たちに投げかけている“メッセージ”を考えてみたいと思います。

講師



弁護士時代の鈴木義男

—平和憲法への助走—

本学経済学部教授・東北学院史資料センター調査研究員

仁昌寺 正一 (にしょうじ しょういち)



人権派弁護士として

本学教養学部准教授・東北学院史資料センター調査研究員

松谷 基和 (まつたに もとかず)

事前見学会

—先着25名・申込不要—

当日は、講演に先立ちラーハウザー記念東北学院礼拝堂及び東北学院史資料センターの見学会を実施します。

時間 12:15 ~ 12:45

東北学院史資料センター調査研究補助員

集合場所 ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

解説 雲然 祥子 (くもしかり さちこ)



主催:東北学院史資料センター TEL.022-264-6538

共催:東北学院大学研究ブランディング事業「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

